间 橋 市 廣 報 (1)昭和30年4月15日 (每月一日十五日發行) 第89號 第八十九號 は、わたくしたちのお台所にも直接ひびく選擧ですから、棄てず汚さず、貴重な一票を、最も理想とする候補者のため 來るニ十三日縣議會議員、三十日市議會議員、市長の選舉が行われます。、縣政、市政を明るく振い興すためのこの選舉 に投票しましよう。(寫眞は市廳舎) 行刷 前橋市役所彩書課報這係上毛新聞社出版部 前橋市曲幅町三十五卷世 発行兼編集入 松田德公 売調印 所集所 及び今度調製する補充選挙人名薄 今度調整する補充選挙人名博には 差に際しご認知した補充選挙人名等 | 所広務課内選挙管理委員会 (田銀) よる1月1 下七日の衆議院議員選 二、三両日中に回鑑を持参、市役 の衆議院議員選挙の時名書に視れ 在で調製した基本選挙人名薄と、一ますから、この方々は、来る二十一今度の選挙は、昨年九月十五日現一で次の事項に該当する人会答駁し ▼永明第一投票所=県立高等保母 編入により、 日その後年令が満二千才に遭した のその後前橋市に転入し完入 によって投票するのでありますが 員選手の時は、五十一カ所でした 本市の投票所は、前回の衆議院議一マ同第二投票所=水明小学校 学院 公明選挙に離け ていて入場券がいか本かった人 補 投票所五 貴 充 重 選 な 地區の名が は、あらためて申請する必要はあ 申請は二十二、三兩日中に 擧 挙人名薄の登録申請をして下さい 区だけは市役所)に申出て補売選 今回からとれを改正し、県憲会議 その他の投票区域は、前回通りで が加わり、計五十三万所になり、一市長漂季が十五万所となりました りません。 人 渡れた人 票 名 て を -簿 カ所設 棄 一カ所増加 後五時まで受付いたします。 たお二十三日は土曜日ですが、午 ●住所が三カ月に達した人 の新たに年会満二千才に達した人 即古投票区、投票区域、投票所及 員選手が十六カ所、市議会議員、 び開票所は下記通りです。 定めている人 住れた人 0 から引続いて前橋市内に住所を (昭和十年四月) 干二百までに (昭和三千年一月一千二百日前 て (カツコ内は投票所) ず 置 市運行) 汚さ ▽富九 マ第七 ▶第二1 着町、標町、紺屋町、 マ第六 ▶ 二 田町、連査町、木町、相 ▶第10 天川町、高田町(天川 ▽第五 マ第二 ▽第六 46六供町、47六供町、天 ▽第四 41紅雲町、41紅雲町、宗 ▶第一 曲輪町、南曲輪町、石川 ▶第二二 堀川町、田中町 さい。万一紛失し上時は、その冒一理想の人物を運びましよう。 紛失さぬよう大切にして置いて下 宅に配布済みになつていますので って三十日に貨に御持参下さい。 付に入場券空示し、それを持ち帰 用することになっていますから、 (芳賀常五抄県所は午後五時まで) 投票は午前七時から午後六時まで 人場券は緑色で、すでに各有権者 十日の市議会議員、市長選挙も、 一十三日の投票には、投票所の受 十三日の県譲会議員選挙も、三 七時から 投票は午前 投票所入場券は、右両日に使 ず 漫王寺町の一部(歳東小 投票區、投票區域 小学校 学校 31清王寺町、32清王寺町 27 | 毛町、28 | 毛町(第 42前代田町、43前代田町 全町、横山町、立山町 甫分町(第一中学校) 標町 (神明幼稚園) 中山小学校) 町 (中山小学校) 会置所 川原町(城南小学校) 市之坪町(城南小学校) >第一七 萩町、萼平町(敷島小 生町、片目町(前橋商工 町(桃井小学校) 入場券二回使用 一中学校 (旧大生相互服行) (市立第一保育団) に ▼第二六 向町、細ケ沢町、小柳 マ下山淵 マ上川淵 ▽第一〇 33才川町、4才川町へ若 ▽第一九 37岩神町(第三中学校) ▽第一八 38岩神町、敷島町 (岩 ▽第一四 新町、芳町(市立女子 うにし、選挙に関するポスターや >第一五 国領町 (明和家政高等 候補者の氏名公示や、新聞記事を よく聞き、よく見て、よい濃華を よく読み、公正な判断によって、 表演説会は、聞きのがしのないよ いたしましよう。候補者の政見亮 のないようにしましよう。 ととになつていますから、間違い 第 限り、勢多郡の候補者に投票する 記載するのは一票一人です。なお 数は次の通りですが、投票用紙に る県議会議員、市議会議員、の定 今度の選挙で本市から選び出され ととを確かめた上で再交付いたし 受付に申出れば、その間違いない 第 前橋市 小瀬水明地区は、県議選挙の時に 第二下佐鳥町、宮地町、 市議会議員 定員 見てよい選擧 よく問きよく 三十日 二十三日 選擧する定數 学校) 町(相二館保育園) 学校 小学校 神小学校) 高校) 町下組へ下佐鳥町公会堂 町、後期町本村 町、後開町本村(上川淵 宮小学校内若宮幼稚園) 中学校) 県議会議員 震 新地町、 四〇名 五名 (第 倉里 籥 第東 ▽元続社 第書 ▽芳賀 りです。 れる名選挙の投票の仕方は次の通しに記入して投票箱に入れます。と 十日(市議会議員、市長)に行わ 来る二十三日(県憲会議員)と三一投票用紙の交付を受け、投票記載 第二 対照を受け、到着番号札と引着に は、入場券を受付に示し、名簿の 第七 第六 第五 第四 畫 第二 第第四 靊 第二 ① 第三 下阿内町、力丸町、徳丸 第二 公田町、横手町、亀里町 ニ十三日県議会議員選挙日に 0 第田町、光家町、前着田町 下着田町、上新田町 (希 山相木町、京市町、江田 **荻窪町(荻窪町西組御務** 民館 場、江米町 (江米町会 **亀泉町、堀之下町(亀泉** ら一部(桂萱出態度) 、五代町 部(三侯町下省寿所)二俣町の一部、上沖町の一 金丸町(金丸分核) 端気町、 田町東公民館 西片員町、東片員町(西 完曇町、上沖町、下沖町 (下沖町公会宮) 小坂子町、上県町の 公会堂 历 片貝町事務所) 町(芳賀出張町) 勝沢町、小神明町、 廿二 明院本堂 の間に、矢島(公田町栗 川淵小中学校講営 町の字阿内宿、寺家(下 公会会 (小坂子町書務所) 投 新前橋公会営 0-----五代町(五代町 0 日 票 \$ 巖 部 と卅日 0 0 マ第一 株并小学校(1、株并小 ー 0 うととができます。不在着投票の 員、市長選挙は二十 不在着投票は、選挙の前日(県職 ▽第三 城南小学校 (5、城南小 ▽第二 神間幼稚園(2、神明幼 の選挙人が選挙の当日、 できる人 会議員選挙は二十二日、市議会議 マ総社 選挙の当日投票に行けない人のた ▽南橋 せただけでお持ち帰り願います。 選挙は、入場券を受付に渡し、名 所で候補者一人の氏名を投票用紙 開票区、所属投票所は次の通りで の日に限り入場券は最初終行に見 第 2E 第二 大友町、大渡町 (大友町 第一 元憲社町、鳥羽町 (元総 Bollin for Bollo and Bollo and Bollo a 第二 北代田町、下小出町(北 第二 雜社町高井、総社町植野 第三,石倉町(石倉町第八区公 三十日の市議会議員、市長の 小在者投票は早/ は 開 仕 投票所 所投票所水明第一、第二 細井中央作業所 上細井町、下細井町(上 の新井、植野、立石(総 の敷島(総社小学校) 総社町総社、総社町植野 会営 城田 実支 社小学校) 一投票所) 社町高井福島 田町公民館 ----票 0 方 九旦まで行 0 公初や業 博方 區 マ第五 マ第四 の選挙人がやむを得ない ▽第六 天川小学校 (1) 三十日の ▽永明 マ清里 ないよう、特に御注意 市長候補者の氏名の記 選挙の分が赤い色で印 分が黒い色で印刷して 名を記載して投票箱に ますから、市識会議員 長の投票用紙をお渡し から、とれに市長候補 のある郡市の区域外に 事故のため、その属す とする場合。 で、出張前に投票をし 物等のため区域外に国 2 これを投票着に入れる 者の氏名一人を投票用 け、投票記載所で市議 市議会議員の投票用語 国対照の後、到着著品 第二 第二 箫 第四 川端町、関根 第二 池端町、上青 第五 第三 龍蔵寺町、 査 投票用紙は市議会 第二中学校 (学校投票所、 投所票质 学校投票所、 上大島町、 学校投票所、 学校投票所、 学校 天川大島町、 **酉町 (酉** ら第五投票所 屋町、東上黔 端町集会町 出生し 清野町、青梨 川原町(熱川 の一部(南橋 立高等保母学 出町、日輪寺 保育所投票

	業管理表 「た行之う」 「た行之う」 「た行之う」		町(永明小支院)	第一世 (1997年) 第一世 (1997年) 第二世 (1997年) 第二世 (1997年)		画います。 画います。	入れます。 私に記載し 補に記載し 補します。
	員会に応問合せ下さい。		A DECK A	◆第十四 市役所 毎 第十六 潮県行法 第二段 第5 第二天 神明幼稚園 第二天 神明幼稚園	第二十二	マ第十一十支に行うない。	● 第九 第八 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二
		なの故障により自ら候補者の氏 、学を知らなくて書けない人に 、学を知らなくて書けない人に 、学を知らなくて書けない人に 、学を知らなくて書けない人に 、学を知らなく言いない。 自分の一葉自分で 決めよう	で人には王王	月 ○ 余 常 常	有有情報の学校、学生教育の学校設計の、学生教育の一、第二社会社会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	所校 15 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	第二級聚所 等於投票所、12、第二 学校投票所、12、第二 学校投票所、12、第二 学校投票所、12、第二 学校投票所、12、第二
L	業登果 篇 亡 奉 2	5 = 署 章 合 を 民	Ē		在第一, 2017年	相敷還示回	1 市立 第二 市 市 市

	昭和30年4月1	5日 前	横	市廣報	1	
		08				第89號 (2)
	A CAR	<	うけても載い、	をうけなか(家康以上) 家康な言め 「家市泉園の時	勢、「	- Forman
			同川仕立の柔	いてきるだけ に共同奏問 しいのいて最	でとのえ の 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	
	the second second				● (ク) 良しましよ ● 株の 転 一 株の 転 一 地 にし し よしよ し よしよ し よし よし よし よし よし	夏万福
			の上からから	するように、この際であった。	若同領責を行 本でしたいと思 二の対策として 本でしておく 体体	で事業の事
			の小東(一 日意してお	する。	く関係機関になって、関係機関になって、関係機関になって、関係機関になって、	報場の
	学生、会は、 第二人の一部でである。 学生、生産の一部でである。 学生、生産の一部である。 学生、生産の、生産の、生産の、生産の、生産の、生産の、生産の、生産の、生産の、生産	そ、 業 空 、 業 金 て る で 、 業 金 石 で で こ る つ に 当 つ た た る の べ に 当 つ た こ る つ と に 当 つ た こ る つ と に 当 つ た こ る つ に 当 つ た こ る つ に 当 つ た こ る つ に 当 つ た こ る つ に 当 つ た こ る つ に 当 つ た こ る つ に 当 つ た こ ろ つ た こ ろ つ に ら つ た こ ろ つ た こ ろ つ た こ ろ つ た こ ろ つ た こ ろ つ た こ ろ つ た こ ろ つ た こ ろ つ で た う つ こ ろ つ た ろ つ た ろ つ た こ つ つ こ ろ つ こ ろ つ た ろ つ た ろ つ こ ろ つ つ た ろ つ で ん た つ つ こ ろ つ て ん た つ つ こ ろ つ こ ろ つ こ ろ つ た ろ つ で く ら つ で く こ ろ つ て う の つ こ ろ つ て ろ つ て ろ つ て ろ つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ て う つ う つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ こ ろ つ つ つ こ つ つ つ こ つ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	と。 し、その後 第を図る)	2) 柔の (1) 石石 (2) 柔の (2) 柔の (2) 柔の (2) 柔の (2) 柔の (2) 柔の (2) 柔の (1) 石石 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	報に
	大学校である。 本学校でのでの。 本学校である。 本学校でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	われることで、 さえませるこ	の生育を問うの	院観となし、「「「「「」」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」	はい、東重ないたとうになるとない、東重ないで、東重ないので、東重ないので、東重ないたとうになる。 といい、東重ないで、東重ないので、東京ないで、東京ないで、東重ないので、東重ないので、東重ないので、東重ないので、東重ないので、東重ないので、東京ないのいので、東京ないので、東京ないのいので、東京ないの、東京ないのいので、東京ないので、東京ないので、東京ないので、東市ないので、東京ないので、東京ないのいので、東京ないので、東京ないのいので、東国にないのいので、東国ないのいの」の、東京ないの、東京ないのいの」の、東国ないの」の、東京ないのいのいの」の、東国ないの、東国ないの、東国」ないの、東国」ないの、東国、国本」ないの、国本」ない、東国、国本」ない、東国、国本」ない、東国、国本」ない、東国、国本」ない、東京ない、東国、国本」ない、東京ない、国本」なり、東京ないない、東京ないの、東国、国本」ない、東国、国本」ない、東国、国本」ない、東国、国本」ない、東国、国本」ない、国本」ない、東国、国本」ない、国」ない、国本」ない、国本」ない、国本」ない、国本」ない、国」ない、国」ない、国」ない、国」ない、国」ない、国」ない、国」ない、国	日日二日、日本
	で。 の の 学校 で 、 着素 、 な の 学校 の 学校 の 学校 の 学校 の 学校 の 学校 の 学校 の 学校			秦王の元 「本我切」 「本我切」	「次の処」	歌方切
	電力では、 での でで、 での での での での での での での での での での		定和三十年	製、桃田田 事児 調査 学会 一定 。 うこと。 うこと。	時の子報を目	王金東
	に司要者二、この校会、二、	く信言した。 「「」、 ですい。 ですい。 ですい。 ですい。 ですい。 ですい。 ですい。 ですい。	ので、それし	の花は長氏雲するか	た場合にも、ための方を見ていた。	
		The second	V•		育、数場意応ても、 調査する	
	本の地域では 「 本部のため出 域では 本部のため出 域では ので あれ で す 部のため出 域で は で す 部の た の た の ま む で 司 の 都 で う の 参 歌 の た の た お い て さ い っ た お れ 新 取 扱 店 つ い て さ い っ た お れ 新 四 お の た ろ た の た ろ た の た の た の た ろ た の た の た つ た ろ た の た つ た の た の た つ た つ た つ た つ た つ た の た つ た の た の た て て つ た の た の た つ た の た の た つ た の た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た こ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ こ つ て つ て つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ つ こ つ つ こ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ		震固地	人 7位の名の 、 4ので適宜 20万)に配置 14日本ので適宜	これであったの方法で次の方方が「开住の方方」であって、電油が良い方法で次の方法で次の方法で次の方法で次の方法で次の方法で次の方法で次の方法で次の	(で) べら 高さの 温(C) ぐら 編新などを 福田安良当っ (本町安良当っ)
	設とするとするとすると	任、市の各部期期 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	資化產	し、一ケ所六合(反当三)	の 中与い に注意する い、 道 記 に 一 欠 し い 時 。 の 日 り に で い 時 。 の 日 た 男 て い 時 。	の「自然型住立」の「「「「「「「」」」」の「「「「」」」」の「「「「」」」」の「「「「」」」」の「「」」」」の「「」」」」の「「」」」」の「「」」」」の「「」」」」の「「」」」」の「「」」」の「「」」」の「「」」」の「」」。」。」。」。
		**************************************	一一 晋 冢	8		
	でお知らせきでお知らせきでお知らせきでお知らせきでありに引いていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	えんの 税の 税の 税の 税の 税の 税の 税の 税の 税の 税	日の見	して一日五公元 第二日日日 二日日日 二日日日日 二日日日 二日日日 二日日日 二日 日日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	。 二、 、なし、 落宿果に 県し 、 た に に に に に に に に に に に に に	被害後の
	福本等は次の 電話の百分	本 の 一 二 酒 雪 え 市 二 酒 雪 え 市 二 酒 雪 え 市 二 酒 雪 え 日	定	10日以内) 1	必予人工再新 い正形果を選 い正形果を選 の一延は、果 の一延は、果 しと。	歴史会 一世来る。 二世を反当り による方法 二世をの 五一大 北点火する の 二世をの 二世を の 二世を の 二世を の 二世を の 二世を の 五一大 に よる方法 一世来る。 の
					0.0	0 0
	日付この広報 第年1月1日 「日本」 「日本」 「日本」 「日本」 「日本」 「日本」	日本の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日本語の日	きった ありません ありません	適し土等す	「防」方 「防」方 「た」 「た」 「た」 「た」 「た」 「た」 「た」 「た」 「た」 「た」	第一時 一時 一時 二個 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日
	「「「「「「「「「「」」」」	「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	。 (島海県) から、御了承 年号によるあ がら、併せて	に、 長いた して た 、 地 た に 長 土 、 世 た 男 合 に 一 一 二 百 を 過 の 記 し 一 こ の の し た 男 合 に う の し た 男 合 に う の し た 男 合 に う の し た 男 合 に う の し 、 、 の の し 、 の の の し 一 て る の の の し て う の ら に う ら に う に う の こ の の の の の の の の の の の の の	法した。第二人の法になった。	「一書のため」 「一書のため」、 一書のため、 下で、 上で、 大で、 上で、 大で、 上で、 たで、 たで、 たで、 たで、 たで、 たで、 たで、 た
遠でま毎 季今 七本米 年級 ト トロのた 注 ありな 日 北田					V	The second
遠でま毎 季今 七本米 年級 ト トロのた 注 ありな 日 北田	のました無料 の一次の一次の のました無料	単有は、200 単する 単する 単する 単する 単する 単する 単する 単する	「木橋一ケ所」、〇〇〇円	た。この下事中で 川久 アト	は、 大りです。 しているかまで たいているかまで	たないないないない
遠でま毎 季今 七本米 年級 ト トロのた 注 ありな 日 北田	この電話に、	項目ない 「「「「「」」」 「「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」	語負のもと、恋害めた工業で、護岸全部	に本生」月、 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の 一般の	ビー・シー・ うけて、岩楂 いたうあなたい。 こうかをレン・	なるなどである
	たばこはす					
こしは「市」内」で「か」い「整置通常等「普報」、よるころとその人」 額番に含むら差を、調査をかよう		すでか 相悪所へ 電出 なら、市民の 音目 日日 一夜 一から、 市民の 音目 一後 一時から 、 市民の 間 に に 一般 の 間 に に 市民 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 間 の 間 に 一般 の 間 の 間 に 一般 の 間 に 一般 の 一 の 一般 の 一 の の 一 の の 一 の の の の の の の の の の の の の	るしい伝染病 あたい伝染病 部に着手した	大会に置いたまであったまであったまであったまであったまであったまで、 一般	なる新していた。 定して、早い ですに裏みを に、見い のですに裏えを に、見い のですに、思い のですに、思い のですい。 に、してい のですい。 に、してい のですい。 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、 のに、	します



-